

海上工事施工管理技術者の既往制度と新制度の比較表

SCOPE 審査・認定部

項目	令和8年度までの既往制度	令和9年度からの新制度			
	海上工事施工管理技術者	1. 海上工事施工管理技術者		2. 海上工事施工管理技術者（補）	備考
		1-① 資格未保有者	1-② 保有外の資格分類を受験する海上工事施工管理技術者及び海上工事施工管理技術者（補）の資格保有者		
受験要件（保有資格）	一級土木施工管理技士または技術士（建設部門）	【既往制度と同じ】	【既往制度と同じ】	なし	
実務経験	海上工事24か月以上かつ資格分類の実務12か月以上	【既往制度と同じ】	【既往制度と同じ】	なし （技術者（補）の受験年齢制限なし）	
受験資格分類	I類（浚渫）、II類（コンクリート構造物）、III類（鋼構造物）	【既往制度と同じ】	【既往制度と同じ】	なし	
一次試験（択一式）受験料	10,000円（税別）	受験料の値上げを検討中 ※一次試験共通分野の合格者で希望する者は、海上工事施工管理技術者（補）に登録できる。	専門分野のみの受験なので1-①の半額程度を検討中	共通分野のみの受験なので1-①の半額程度を検討中	受験料の改定は、平成20年の資格認定制度制定以来初めてである。
一次試験（択一式）問題	共通（30問）＋専門（20問解答/25問）	【既往制度と同じ】	専門（20問解答/25問）	共通（30問）	
一次試験（択一式）合格基準	共通と専門の合計で60%正答（補助的な目安として合格率55%程度）	共通と専門でそれぞれ60%正答（補助的な目安として合格率55%程度）	専門で60%正答（補助的な目安として合格率55%程度）	共通で60%正答（補助的な目安として合格率55%程度）	
二次試験（面接式）受験料	10,000円（税別）	受験料の値上げを検討中	受験料の値上げを検討中	なし	受験料の改定は、平成20年の資格認定制度制定以来初めてである。
二次試験（面接式）問題	経験論文提出	【既往制度と同じ】	【既往制度と同じ】	なし	
二次試験（面接式）合格基準	「施工経歴」が確認でき、かつ総合的施工技術力及び技術者倫理について、2名の面接委員の評価点の平均点がそれぞれ60%以上	【既往制度と同じ】	【既往制度と同じ】	なし	
登録料（登録証・資格者証）	10,000円（税別）	登録料の値上げを検討中	登録料の値上げを検討中	登録料は1-①、1-②の半額程度を検討中	登録料の改定は、平成20年の資格認定制度制定以来初めてである。
資格の更新	5年毎（継続学習200ポイント）	【既往制度と同じ】	【既往制度と同じ】	5年毎（継続学習100ポイント）	
資格の更新手数料	10,000円（税別）	更新手数料の値上げを検討中	更新手数料の値上げを検討中	更新手数料の値上げを検討中	更新手数料の改定は、平成20年の資格認定制度制定以来初めてである。
資格保有者のメリット	総合評価入札の監理技術者における加点評価	【既往制度と同じ】	【既往制度と同じ】 ・一次試験の専門分野の試験から受験できる（共通分野の試験免除）。	・総合評価方式入札の（監理・主任）配置予定技術者における2位加点評価を得られることを目標とする（正の1/2）。	